

国労鹿児島

九州本部主催

組織強化、拡大・活動家学習交流会を開催

全組合員が組織拡大に邁進しよう！



11月27・28日佐賀県鹿島市の自然の館「ひらた」において、九州本部主催の「組織強化拡大・活動家学習交流会」が開催され、地区本部から原村委員長と黒木副委員長が参加しました。

古賀副委員長の司会で進め中央本部本間組織部長から、「指令1号を再確認し組織拡大に全力をあげるとともに、5年ビジョンについても十分な議論を進めてもらいたい」と提起された。

続いて東京地方本部石井書

記長から「東労組の組織問題の経過と実態として、3200人が脱退したがほとんどは未加入となつている。未加入者は、組合費も払わなくていいし、動員に行かなくて良いと言っている。一方で「社友会」が結成され組織化されている。組合離れが進む中でどう国労加入に結び付けるか声を聴いて、色んな場所に入つていく事も大事となつてくる」と報告がされた。

その後、職種別の分散会と交流会を行った。

2日目は、分散会報告・青年部特別報告、質疑答弁後、西山組織部長の集約が行われた。

最後に、団結ガンバローで全組合員が職場活動を進め、組織拡大に邁進することを確認した。

分散会報告

◆車掌

・若手車掌との交流をどうつくるか。

・訓練等で職場の問題を訴えピールするようにすればどうか

◆営業

・異常時超勤指示がない
・地域社員の超勤問題がある

◆運転士

・若手が車掌から運転士に来る時の連絡をみつにしてほしい
・シニア行路の作成を早くにしてほしい。



参加した原村委員長

労働者のための組合を少数だからこそ一人一人が労働運動を



青年部報告する福崎組合員

「若い力」若い社員は、労働者という意識を持つてないそのために、不満を疑問に変える、問題に気づいてもらうために発信している。

若手に労働者視点で回答することが大事。考えはあるが行動しない。現状維持となつている。

若手は労働組合に期待してない。交渉することも知らない。何故問題が解決したのか会社の問題を訴える事、疑問を持つてもらうことが大事だから国労はどうするか、拡大も大事だが、強化すること、要求を通していつてもらうこと。運動を作ることが本質だと思ふ。

労働者のための組合である事を訴え。一人一人が労働運動をすることで拡大が広がる

(概略です)

常にアンテナをはって若手の悩みをつかみ解決の道を示そう

若年退職が増えている。何が原因か。賃金か。超勤問題もあがってきている。監視して点検することが大事となっている。

そのために国労が勉強して何が問題か、数字的に明らかにして若手に伝え、訴えることが求められている。

お歳暮ノルマは無いとなつたが、職場では目標として強制が行われてないか監視を。人を増やさないと要求も通らない。本日の報告を必ず、分会・職場で職場集会等を開催し行つてほしい。

組織拡大に向け、全組合員が職場でアンテナをはつて、若手の話に耳を傾け、不平不満・悩み、何故そうしているかをつかみ、話し込み、若手へ解決の道（労働組合に結集し共に闘つて勝ち取る）を示そう。

(概略です)



集約する西山組織部長